

GKP チーム九州 下水道広報イベント リレー講演「下水道から見てくる世界」と マンホールカード大集合（報告）

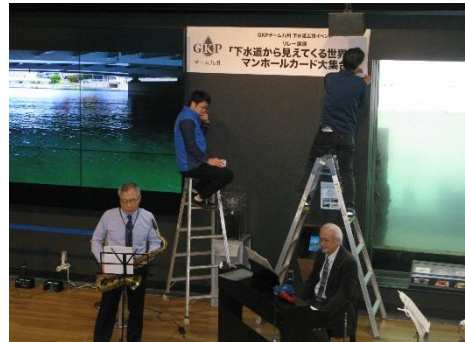
開催日：2020年（令和2年）1月25日（土）14：00～17：00

会場：北九州市立水環境館

参加者数：約200名（マンホールカード投票数176名より推測）

準備（11：00～12：00）

- ・会場設営：2名
（水環境館スタッフ2名が応援）
- ・九州・マンホールカードMAP作製：8名
- ・ミニライブ音合わせ：3名
- ・記録：1名



コメント： 地図にマンホールカードを貼る位置決めに少し苦労。

リレー講演 (14:00～17:00)

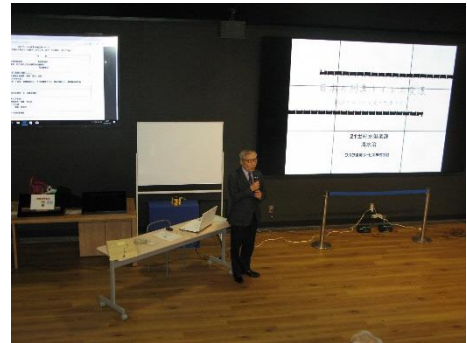
開 会 (14:00～14:03)

挨拶：代表 松井正樹 氏

開催地代表挨拶：北九州市上下水道局
下水道部長 持山泰生 氏



司 会：緒方絵里奈氏
進 行：幹事長 田中文彦氏



講 演① (14 : 10～14 : 45)

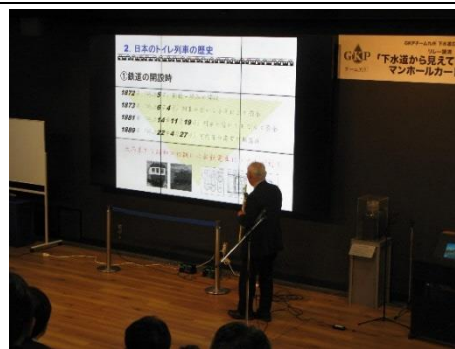
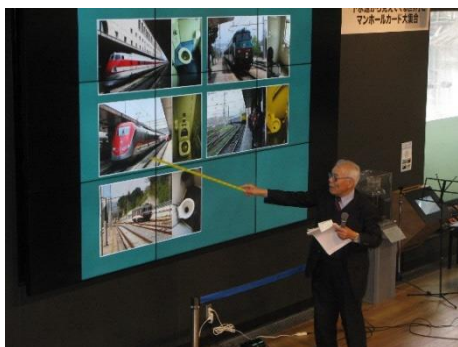
題 名 : 「知ってる？世界の列車トイレ」

講演者 : NPO 法人 21 世紀水クラブ

顧問 清水 洽 氏

<講演概要>

冒頭に日本の列車トイレの変遷について説明。その後、ヨーロッパ5か国、アメリカ、アフリカ2か国、中国の列車トイレについて、自ら撮影した列車と美しい風景とともにトイレ事情を紹介。最後に、現在でも日本の列車トイレは世界一との言葉で講演を終えました。



コメント : インドネシアから北九州市立大学に環境問題（下水道、ゴミ処理等）を学びにきた研修員 20 名も聴講。

講 演② (14 : 45～15 : 05)

題 名 : 「海の豊かさを守る」

講演者 : 福岡県立若松商業高等学校

1 年生 高橋 里香 さん

千代田華穂子 さん

柳生 遙香 さん

引率 高橋 真由美 教諭

<講演概要>

人と自然に優しい無添石鹼を製造するしゃぼん玉石鹼の協力を得て、自分たちが使った（汚した）水が最終的に流れる海の豊かさを守るため、洗剤、水の使用、下水道の役割などについて、非常に判りやすい説明と、学園祭から地域へ、そして、北九州市（洞海湾）から世界の水を綺麗する活動についてのプレゼンテーション。



コメント : 講演を聞いた方から、高校生の発表内容とプレゼンテーションレベルの高さに、非常に感心をしたとの意見も聞いた。

アトラクション (15:30~15:30)

「会員有志」によるミニライブ

演奏者：サックス 松井正樹 氏
ピアノ・フルート 木原宗道 氏
ボンゴ 松井洋氏（サポート）



コメント：アンコールを含めて 4 曲の軽快な演奏が会場に響き渡り、楽しいひと時でした。



講演③ (15:50~16:10)

題 名：ビストロ下水道

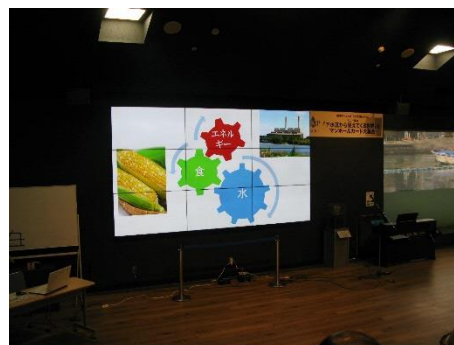
講演者：東北大学特任教授

内閣府地域活性化・伝道師

加藤裕之 氏

<講演概要>

ビストロ下水道の名付け親でもある加藤氏は、37%日本の食料自給率 37%など具体的な数値を示しながら、今後のエネルギー、水、食料利用における下水道の役割と可能性について示すとともに、従来の農作物やノリ生産に加え、畜産への幅広い分野での下水道の利用と研究について、報告がなされた。



コメント：参加者から、自分はウイナーソーセージなどの加工品を良く食べるが、自給率が 0.7%しかないと聞いて吃驚するとともに、今後の下水道のさらなる利用拡大に期待するとのコメントも聞けた。

講演④ (16:10～16:35)

題名:「アート下水道プロジェクト」

講演者: 日水コン 営業
富田 真末 氏

<講演概要>

昨年の「下水道展 19 'in 横浜」で優勝賞を受賞した「アート下水道プロジェクト」に関する報告。下水道の今日的課題解決について、社内の若手と女子美術大学の学生とコラボし、「技術」と「感性」を融合するアートシンキングを下水道に取り入れるという挑戦に関するプロジェクトの紹介。



コメント: 下水道現場視察時、女子大生が躊躇するかと心配したが、参加した男性社員より、積極的だったとの報告に、会場内は苦笑。

マンホール人気投票結果発表と閉会 (16:40～16:50)

マンホール人気投票結果発表と閉会

・展示 自治体数 46 団体

展示総数 52 枚

・投票総数 176 票

1 位 北九州市 銀河鉄道 999 23 票

2 位 佐賀県・鹿島市 20 票

北九州市 下水道 100 周年 20 票

発表及び閉会挨拶: 幹事長 田中文彦 氏



コメント: 目標参加者数 (100 人) に対し、約 200 名 (3 桁) に達し、“ほっと”した表情で記念撮影。

マンホールカード人気投票 (13 : 30～16 : 30)

・展 示 数 自治体数 46 箇所

展示総数 52 枚

・投票総数 167 名

1 位 北九州市 銀河 999 22 名

2 位 佐賀県 鹿島市 20 名

北九州市 若松花火 20 名



コメント：水環境館に訪問者に積極的に投票を呼び掛けたことも、176 名の投票につながった。(開催場所が良かった)

投票参加者には、北九州市のマンホールカードを配布。



今回 2 位の佐賀県・鹿島市の祐徳神社が海外ロケ地となっていたことからインドネシアの研修生が多く投票したものと思われる？



カードホルダーから再確認



投票結果の集計

懇親会 (17:30~19:30)

会 場：水環境館近くのアイリッシュパブ

参 加 者：GKP チーム九州会員、講演者



代表 松井正樹氏の挨拶



乾杯



講師及びミニコンサート演奏者への
記念品贈呈



恒例の人脈づくり（名刺交換）



加藤裕之氏による
下水道万歳でお開き